

# 平成24年度 (株)レークサイド桜岡の経営状況

## 平成21年度以来の黒字決算

道の駅の売上増が影響  
3月の「じやらん」道の駅満足度ランキングでは  
4位に順位上昇

第20期の総売上高は、ホテル部門が1億7,119万円、道の駅部門が1億2,571万円で会社全体としては2億9,690万円で対前年22万円(0.1%)の増収となりました。このうち町からの管理受託収入を除く売上高ではホテル部門が1億4,312万円で対前年327万円(2.2%)の減収、道の駅部門は1億1,697万円で対前年432万円(3.8%)の増収となり、全体では2億6,009万円で対前年105万円(0.4%)の増収となりました。

### ホテル部門

昨年4月に入館料を改定した結果、入館売上は2,104万円で対前年51万円(2.5%)の増収となりましたが、値上の影響で日帰り入浴者の利用が61,653

人で対前年13,810人(18.3%)の減となりました。

レストラン売上1,140万円で対前年228万円(16.7%)の減収、売店売上959万円で対前年199万円(17.2%)の減収、自販機売上319万円で対前年24万円(7.1%)の減収となり、日帰り入浴客数の減が各売上に大きく連鎖し大変厳しい結果となりました。

宿泊は、地元紙広告を活用した各種宿泊プランの促進及び「じやらん」「楽天」のウェブサイトを利した客室販売の強化、又、映画「じんじん」の撮影隊宿泊利用の効果もあり、人数は8,551人で対前年814人(10.5%)の増となりました。売上につきましても、6,180万円で対前年326万円(5.6%)の増収となりました。

宴会は地元紙広告を活用した法

要商品の利用促進、及び昨年から引き続きセールスの強化に力を注ぎました。7月迄は売上が対前年33.8%増で推移しましたが8月以降は売上が伸び悩み3,074万円で対前年218万円(6.6%)の減収となりました。利用状況も351件で対前年10件減、人数につきましても6,731人で対前年1,038人(13.4%)の減となりました。

ホテル部門の総入館者数は76,935人で対前年14,034人(15.4%)の減となり、日帰り入浴客の利用減が大きく響きました。社員の教育にも力を注ぎ、フロント及びサービスに関わる従業員を中心に専門家派遣事業を利用し、登別温泉花鐘亭「はなや」の女将を講師に招き、「社会人としての心構え」「責任のとり方」「サービス業とは」を実践も踏まえ講演していただきました。

経費につきましては、A重油の年間平均単価がリッター当たり71.7円で昨年69.3円と比較すると2.4円の高騰となり対前年50万円の経費増となりましたが、食材の仕入先と食材管理及び調理



### レークサイド桜岡 入館者数

	入館者数①	宿泊者数②	宴会(宿泊)	宴会(日帰り) ③	入館者総数 ①+②+③
H21	75,934人 (1日当たり208人)	8,213人 (1日当たり23人)	3,217人 (1日当たり9人)	7,842人 (1日当たり21人)	91,989人 (1日当たり252人)
H22	78,893人 (1日当たり215人)	8,091人 (1日当たり22人)	2,952人 (1日当たり8人)	6,851人 (1日当たり18人)	93,835人 (1日当たり257人)
H23	75,463人 (1日当たり205人)	7,737人 (1日当たり21人)	3,053人 (1日当たり8人)	7,769人 (1日当たり21人)	90,969人 (1日当たり248人)
H24	61,653人 (1日当たり169人)	8,551人 (1日当たり23人)	3,088人 (1日当たり8人)	6,731人 (1日当たり18人)	76,935人 (1日当たり211人)

の工夫に力を注いだ結果、材料費の減に繋がり、また、調理人1名の補充ができなかった結果、人件費の減となりました。

以上のことからホテル部門の経常利益は昨年の△1,716万円から△990万円、726万円の増収となりましたが大変厳しい結果となりました。

## 道の駅部門

4月に酒類販売業免許を取得し、地酒を販売するとともに、売店その他商品も魅力ある商品を増やしたことで、また、道の駅前での「とりも焼き」の販売効果もあり、オープン以来最高の売上及び収益を上げました。トイレ利用も含めた利用も484,866人となり対前年19,494人(4.2%)の増となりました。

レジ通過者及びレストラン利用者の合計は140,930人で対前年5,788人(3.9%)の減となりましたが、農産物直売所のオープンが5月の連休後になり前年より12日少なかったことが考えられます。

テイクアウト売上が「とりも焼き」の販売も含め、1,256

万円、対前年267万円(27.0%)の増収、売店その他商品売上1,887万円、対前年349万円(22.7%)の増収、自販機手数料187万円、対前年27万円(16.6%)の増収と著しく売上を伸ばしました。

午後3時以降の品薄状態の課題を解消するため積極的に商品を焼いた結果、パン売上も2,486万円、16万円(0.7%)の増収となり、農産物の売上は天候不順の影響もあり、1,887万円、対前年97万円(4.9%)の減収、地場産品の売上は2,023万円、対前年32万円(1.6%)の減収となりました。

レストランは7月から9月にかけての週末に試験的に営業時間の延長を実施いたしました。効果が得られませんでした。売上1,745万円、対前年95万円(5.2%)の減収となりました。

経費につきましては、ホテル部門同様、食材の仕入先と食材の管理及び調理の工夫に力を注ぎ、材料費の減に繋がりました。また、パンも調理の工夫をする等、材料費の減となりました。10月に社員1名の退職に関わる補充をパート従業員で対応した結果、人件費の

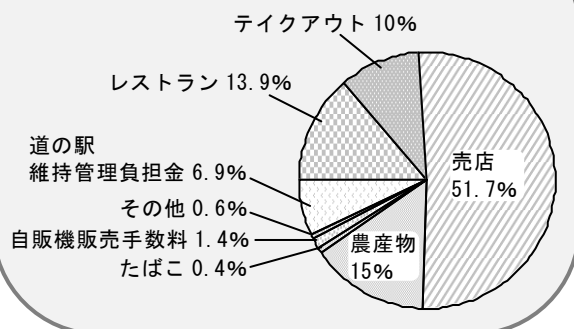
減となりました。

以上のことから、道の駅部門の経常利益は昨年の759万円から1,321万円となり563万円の増収となりました。

3月の「じゃらん」満足度では4位に順位が上がり、更に上位を目指してまいります。法人税等引当後の株式会社レークサイド桜岡の当期純利益は313万円となり、平成21年度以来の黒字決算を迎えることができました。

今後よりよいサービスの開発・促進を行ってまいりますので、みなさまのご利用をお待ちしております。

道の駅絵本の里けんぶち売上科目割合



## 道の駅絵本の里けんぶち 入館者数

	売店	テイクアウトコーナー	レストラン	直売所	入込客数
H21	10,926人 (1日当たり30人)	94,162人 (1日当たり258人)	22,575人 (1日当たり62人)	21,079人 (1日当たり111人)	148,742人 (1日当たり408人)
H22	8,676人 (1日当たり24人)	77,699人 (1日当たり213人)	20,821人 (1日当たり57人)	17,694人 (1日当たり94人)	124,890人 (1日当たり342人)
H23	6,742人 (1日当たり18人)	90,457人 (1日当たり247人)	26,745人 (1日当たり73人)	22,774人 (1日当たり120人)	146,718人 (1日当たり400人)
H24	4,177人 (1日当たり11人)	92,463人 (1日当たり253人)	25,544人 (1日当たり70人)	18,746人 (1日当たり106人)	140,930人 (1日当たり386人)